

## 海外留学レポート

専門分野において視野を広げるため、そして学術論文を英語で執筆するため、東京大学の全学交換留学制度（USTEP=University-wide Student Exchange Program）でオーストラリアに2学期間、留学しました。東大にグローバル化に向けたこうした体制が整っていること、そして送り出してくださったグローバル共生プログラムの先生方に感謝しております。

派遣先のアデレード大学（University of Adelaide）は南オーストラリア州にある公立大学です。これまでに5人のノーベル賞受賞者を輩出しており、その長い歴史と研究実績からオーストラリア版アイビー・リーグ（Group of Eight）と称されています。



投稿する論文の準備をしつつ、以下のような講義を受講しました：

- Politics, Ideology & Discourse
- Advanced Arts Research Project
- Gender and Race in a Post-colonial World
- Social Research Advanced: Real World Practice



Politics, Ideology & Discourse の tutorial はディスカッション方式



Advanced Arts Research Project の Prof. Han & クラスメートたちと



Conference for Advanced Students での発表  
(Department of Classics, School of Humanities, The University of Adelaide)

また、国際交流にも意欲的に取り組みました。各国の紹介を（その国の留学生たちが）するイベント等に積極的に参加しました。互いに異なる文化を学び合う素晴らしい機会となりました。それから、日本語を専攻している学生たちに日本語を教えたりもしていました。



Language and Cultural Exchange Program (LCE) のイベント (Japanese Night)

なお、東大・Go Global の HP「東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書」にも留学体験記を載せています：TOP > 留学プログラム > 全学交換留学（国際本部担当）<http://www.u-tokyo.ac.jp/content/400035402.pdf>

現在は、留学中に準備していた英語論文を投稿しているところです。留学をとおして学び、得てきたことを結実させるためにも、今後一層頑張らなくてはと思っています。

GHP 博士課程 3 年 岡田